



RFID 応用例（医療関係）

非接触で瞬時に体温を測定します。

特徴：

- 子供や介護を必要とする老人及び重体患者に最適です
- 体温計は温度タグ（センサー）と検温リーダで構成されます
- 温度タグにはそれぞれに ID が振り分けられ患者の識別管理に利用出来ます
- 非接触で検温出来る為、看護婦が 1 台の検温リーダで複数の患者の体温を測っても消毒の必要は無く院内感染の危険性は有りません
- 温度タグは皮膚に優しいフィルムと粘着テープ・ガーゼで作られていて人体に常時貼っていても問題は有りません、入浴も可能です
- 温度タグには ID が振り分けられていて 1 台の検温リーダで複数の患者の体温を測る事が出来ます、検温データはナースセンターに設置されたクレードルにて ID と共に自動的に院内サーバに転送されます
- 検温リーダには Bluetooth 又は ZigBee 等の通信機能を持っていて、各病室に設置された端末にリアルタイムで検温データを送る事が出来ます
- UHF 帯への対応を計る事により、空港出発ゲートにて発熱の有る乗客の監視を行う事が可能です

非接触で何時でも瞬時に検温

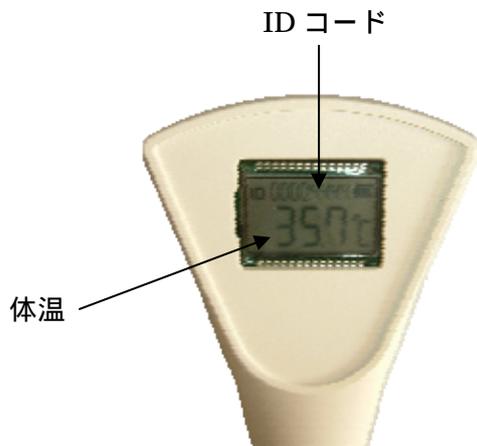
赤ちゃんや患者が睡眠中でも気づかれずに検温が出来ます



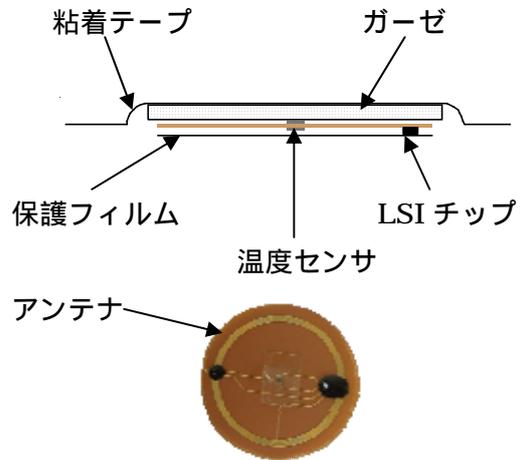
自己誘導発電にて電池不要



【検温リーダー】



【温度タグ】



応用例-1 :

携帯電話誘導機能を利用して、訪問介護等で検温データを介護センターや病院に瞬時に送る事が出来ます。





応用例-2 :

